発症状況等調書（頚部・腰部痛事案）

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　　 　　年 　　月 　　日

今回の頚部痛・腰部痛を発症したときの状況等については、次のとおりです。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　被災職員氏名

|  |  |
| --- | --- |
| 作業姿勢については、別添  「災害発生状況写真」のとおり  １ 災害発生状況  ※　非災害性の頚  　部痛の場合、こ  　の調書のほかに  　日常業務の従事  　状況等に関する  　詳細な資料を整  　備すること。 | 被 災 日　　　　　年　　月　　日 　被災場所  被災状況　　　→　　有　・　無  　　　　　　突発的な出来事・アクシデントの有無　→　　有　・　無  （具体的状況）  頚部痛・腰部痛の発症原因となった対象物  【人】　（性別） 男・女 （年齢）　　歳　（身長）　　　cm　（体重）　　kg  【物】　（大きさ）　　　cm ×　　　cm ×　　　cm　　（重量）　　　kg  　　　　（形状）　　　　　　　　　　　　　　　（材質） |
| ２ 被災職員に関  　する事項 | （性別） 男・女　（年齢）　　　歳　（身長）　　　　cm　（体重）　　　kg  痛みを感じる部位　　自発痛（×）、圧痛（△）、運動痛（○）の部位を図示  【被災時】　　　　　　　　　　　【現　在】 |
| ３ 被災原因等に  　関する申立て | 今回の頚部痛・腰部痛を発症する直前の状況  　ａ　頚部痛の自覚症状はまったくなかった  　ｂ　作業時など、時々軽い痛みを感じていた（　　　　年　　　月頃から）  　ｃ　常時、頚部に痛みや不快感を感じていた（　　　　年　　　月頃から）  ｄ　腰痛の自覚症状はまったくなかった  　ｅ　作業時など、時々軽い痛みを感じていた（　　　　年　　　月頃から）  　ｆ　常時、腰部に痛みや不快感を感じていた（　　　　年　　　月頃から）  今回の発症原因についてどう考えるか  　ａ　被災時に従事した作業が原因である  　ｂ　普段の通常業務が原因である  　ｃ　身体上の素因や以前から有していた基礎疾患が原因である  　ｄ　その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）  今回の発症に関連すると思われる他のアクシデントの有無　　無　・　有  　　※「有」の場合、時期や状況の詳細について別添資料として整備すること。 |
| 「１ 災害発生状況」については、上記のとおり相違ありません。  　 　　　　年　　月　　日　　所属長職・氏名 | |